

会 員 各 位

社団法人 長崎県建設業協会
会 長 谷 村 隆 三
[公 印 省 略]

工事事故防止への取り組みについて

かねてより、本会業務の円滑な運営等につきましては、格別のご高配を賜り厚くお礼申し上げます。

今年度も別紙に示すような死亡事故および長期休業を要する工事関係者事故が発生しており、さらなる工事事故防止への取り組みが必要となっております。

これらの事故発生状況を踏まえ、従来からお願いしております次の事項に特に留意して安全対策を徹底するよう長崎県土木部建設企画課長より別添のとおり要請がまいっておりますので、事故防止に万全を期していただくようお願い申し上げます。

記

1. 車両系建設機械の作業範囲内への立ち入り禁止措置を行うこと。やむをえず作業員を立ち入らせる場合は誘導員を配置すること。
2. クレーン機能付きバックホウで吊荷作業を行う場合は、クレーン仕様への切り替えスイッチを必ずセットすること。
3. 運転席において、操作に支障する場所に測量機材など置かないこと。
4. 施工計画において作成した安全管理計画は、元請が中心となって確実に実施すること。
5. 危険予知活動等において必要とされた安全措置は、職長が必ず作業前に点検すること。
6. 重機や車両との接触の恐れのある箇所での作業においては、反射ベストを着用すること。
7. 玉掛作業は、クレーン等の吊上能力に合う資格を有する者が当たること。
(1 t 以上：玉掛技能講習 1 t 以下：玉掛特別教育)
8. 標準的な作業手順を変更して施工する場合は、新たに発生する危険予知を入念に行い、安全措置を十分に講じて施工を行うこと。
9. 安全衛生責任者の不在により、あらかじめ承認を得て選出された代理人は、いつも以上に安全措置を実施すること。また、代理を認めた統括安全衛生責任者は、安全巡視において、安全措置を入念に点検すること。